

V 医療企画担当事業の概要

V 医療企画担当事業の概要

地域の医療行政の第一線機関として、救急医療、献血推進、衛生統計、医事関係、医療従事者免許、国民健康保険等の各事業について所掌しています。

また、企画調整に関する業務として、所内・市町間、関係機関等の連絡調整を図り、在宅医療・介護コーディネート事業や健康危機管理地域連携事業、災害時コーディネーター体制整備事業等を企画・調整・実施することにより、住民の自主的な健康づくり活動の支援及び地域保健の推進に努めています。

1 地域保健医療対策推進事業

地域保健医療福祉協議会を開催し、地域における保健医療福祉の一層の連携を図り、それらに関する施策の総合的な推進に係る事項を協議し、関係機関・地域住民の意見を十分に反映した保健所業務の運営に努めています。

会 議 名	開催日	出席数	協 議 事 項
美馬保健所地域保健医療福祉協議会	R7. 2. 27	13名	(1)美馬保健所地域保健医療計画の進捗状況について (2)減塩対策を中心とした生活習慣予防について

2 休日夜間急患診療確保対策事業

休日夜間における急患及び交通事故等による重篤患者に対する診療体制の整備を図るため、管内の関係機関（医療機関・市町・消防組合・警察署）と連携を図り、美馬市医師会作成の「美馬地区夜間及び日曜・祝祭日等救急医療当番医一覧表」により連絡調整に努めています。

3 救急医療対策連絡協議会等の事業

救急医療対策連絡協議会を開催し、地域における問題点を協議し、関係機関等の理解を得るとともに、地域住民に対して応急手当に関する知識の普及・啓発に努めています。

会議名	開催日	出席数	内 容	開催場所
救急医療対策連絡協議会	R7. 2. 3	27名	(1)救急医療の現状と各関係機関の活動状況について (2)関係機関からの提出議題 ・医療相談事業について(#7119、#8000等) ・子どもの急病・事故ハンドブックについて ・救急活動について(プロトコール改訂案、マイナ保険証活用実証事業) ・美馬市・つるぎ町多職種連携シンポジウム	美馬保健所
救急法等講習会	R6. 11. 29	40名	心肺蘇生法、AEDの実習	西部テクノスクール

4 献血推進事業

県内における医療用血液の需要量の増加に対処するため、各市町・高校・事業所等の協力を得て、組織的かつ計画的な献血の推進に努めています。

年度別献血状況

単位：人

項目	200mL	400mL	成分	合計
R4年度	0	690	0	690
R5年度	0	620	0	620
R6年度	0	635	0	635

※移動採血車による全血献血は、全国一斉に400mL献血の推進をしています。

5 衛生統計事業

人口動態調査及びその他衛生統計調査を基にして、厚生行政の基礎資料としています。

調 査 名		調査客体数	調査時期	備 考
定 期 報 告	人口動態統計調査	973件	毎月	出生137件、婚姻65件、離婚38件、死亡732件、死産1件
	病院報告	管内9施設	毎月	療養病床を有する診療所1カ所
	地域保健・健康増進事業報告	保健所及び 1市1町	毎年	
	衛生行政報告例	2表	毎年	
定 期 外 報 告	国民生活基礎調査 (小規模調査)	管内1地区	3年毎 (R6. 6. 6)	美馬市1地区
	社会保障・人口問題基本調査 「第9回世帯動向調査」	管内1地区	3年毎 (R6. 7. 1)	美馬市1地区
	医療従事者届	—	2年毎	医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、歯科技工士

6 医事関係事業

病院及び診療所が医療法等の関係法令に定められている構造設備及び人員を有し、かつ適正な管理を行っているか否かを検査するとともに、病院の実情に即した指導と助言を行い、住民に対する医療の向上と医療機関の健全な運営を図っています。

(1) 医療機関立入検査の状況

令和6年度

区分	対象数	実施数	検査内容			
			指摘なし	不適合指摘	改善勧告	その他
病院	8	6	6	0	0	
診療所	有床 3	3	3	0	0	
	無床 18	0	0	0	0	
歯科診療所	18	0	0	0	0	
計	47	9	9	0	0	

※実施数は医療政策課単独実施分は含まない。

(2) 許認可事務処理状況

令和6年度

許認可事項	受理件数	処理件数		未処理件数
		可	不可	
診療所開設許可	1	1	0	0
診療所開設許可事項変更許可	0	0	0	0
診療所構造設備検査	0	0	0	0
診療所兼任管理許可	1	1	0	0
病院開設許可	0	0	0	0
病院開設許可事項変更許可	1	1	0	0
病院構造設備使用許可	1	1	0	0
病院兼任管理許可	0	0	0	0
計	4	4	0	0

(巡回診療は含まない。)

7 免許関係事務

医療法に基づく医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の医療従事者の免許申請の受付事務を行っています。

令和6年度

免許種別	交付申請	書換交付	再交付	抹消	計
医師	0	1	0	0	1
歯科医師	0	0	0	0	0
診療放射線技師	1	0	0	0	1
臨床検査技師	0	0	0	0	0
衛生検査技師	0	0	0	0	0
理学療法士	5	1	0	0	6
作業療法士	6	0	0	0	6
視能訓練士	0	0	0	0	0
薬剤師	1	1	0	0	2
保健師	5	1	0	0	6
助産師	0	0	0	0	0
看護師	14	4	0	0	18
計	32	8	0	0	40

8 医療保険関係

西部総合県民局管内の2市2町が行う、国民健康保険及び後期高齢者医療に関して、国費・県費の各種負担金等の市町からの申請の取りまとめ、交付決定及び支払い等の事務を行います。

また、国等からの調査について、市町への照会等も行います。

(1) 保健所支出の県負担金の状況

支出額(円)	交付先	目 的
282,909,246	美馬市他3市町	【国民健康保険保険基盤安定負担金】 国民健康保険は低所得者の加入割合が高いため、低所得者に対する保険税軽減相当額等を公費で補填することにより、他の被保険者の保険料負担を緩和する。
359,169	美馬市他3市町	【国民健康保険未就学児均等割保険料負担金】 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、未就学児である被保険者が属する世帯の保険料負担金を緩和する。
102,896	美馬市他3市町	【国民健康保険産前産後保険料負担金】 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、出産（予定）である被保険者が属する世帯の保険料負担金を緩和する。

9 学生実習等人材育成事業

(1) 学生実習

徳島県保健所実習生実習要領に基づき、栄養学科・保健学科等の学生を受け入れ、実習を行っています。

学 科	大 学 名	実習期間（日数）	実人数	延人数
管理栄養士	徳島大学医学部医科栄養学科	R6. 5. 27～R6. 5. 31（5日間）	11	155
	徳島文理大学人間生活学部		8	
	食物栄養学科			
	四国大学生生活科学部 管理栄養士養成課程		12	
保健師	徳島大学医学部保健学科看護学専攻	R6. 5. 20～R6. 5. 24（5日間）	2	10
	四国大学看護学科	R6. 6. 10～R6. 6. 12（3日間）	6	18
	徳島文理大学看護学科	R6. 8. 26～R6. 8. 29（4日間）	3	12

(2) インターン実習生

人事課の依頼に基づき、県保健師の魅力発信のため、インターン実習を行っています。

学 科	対 象	実習期間（日数）	実人数	延人数
保健師	保健師として就職を希望する高校生から大学生	R6. 8. 27～R6. 8. 28（2日間） 3日間を予定していたが、台風による暴風のため1日間中止	2	4

(3) 管内保健師連絡会の開催・参加

開催日・場所	テーマ・内 容	参加人員
年月日 R6. 8. 19 場所 美馬市保健センター	西部災害時保健活動研修会・訓練① ○研修会 「能登半島地震災害派遣活動報告について」 ・保健師チーム派遣 美馬市保険健康課 ・DHEAT派遣 美馬保健所 所長 ○演習 「自施設における災害対応について」 ・現在実施している業務の災害対策 ・担当業務の災害対策での課題	26名
年月日 R6. 9. 2 場所 美馬市役所	西部災害時保健活動研修会・訓練② ○講義：災害支援の基本について 講師：美馬保健所 健康増進担当 1) 災害に関わる根拠法令・災害時保健医療体制 2) フェーズ毎の保健活動 3) 都道府県、保健所、市町村の役割について ・災害時保健活動マニュアル ○演習・訓練 1) クロノロについて 2) 避難所の支援について	19名

10 健康危機管理地域連携事業

保健所は、地域における健康危機管理対策の中核としての役割を担うべく、平常時の対策の強化と、健康危機発生時の迅速な対応が求められています。そこで消防・警察・市町・医療関係者等を含めた、合同の研修会や検討会をとおして、健康危機管理体制の整備を行っています。

(1) 「美馬保健所健康危機管理マニュアル」の整備改訂

健康危機管理に関することをおさめ、保健所職員全員が健康危機管理対策への理解を深め、休日等の時間外対応についても初動対応ができる為の体制整備を行っています。

(2) 「美馬保健所健康危機対処計画」の活用

新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取組を踏まえ、今後の感染症危機に備えるため、美馬保健所健康危機対処計画を令和6年3月に策定し、保健所職員等の人材育成や関係機関の連携強化を図り、平時からの計画的な体制整備に努めています。

(3) 研修会の開催

①健康危機管理研修会の開催

消防・警察・医療機関・市町・県関係等の関係機関を対象とし、健康危機管理についての意識啓発を図り、連携を強化することを目的とします。

開催日・場所	テーマ・内 容	参加人数
年月日 R6. 12. 9 場所 美馬保健所 応接室	〈鳥インフルエンザ防疫対策に係る調整会議〉 ○内容 (1) 現地対策本部の対応について (2) 意見交換	7名

開催日・場所	テーマ・内 容	参加人数
年月日 R6. 7. 2 場所 西部総合県民局 美馬庁舎	1 健康危機管理研修会 ○内容 (1) 講演「感染症対策について」 講師：県立三好病院感染管理担当看護師 猪尾 美紗妃 氏 (2) 実技 個人防護具（PPE）着脱訓練 (3) 情報提供「熱中症予防について」 株式会社大塚製薬工場	16名

(4) 所内及び所外の研修会の開催

年月日	テーマ・内 容	参加人数
R6. 5. 13	健康危機管理マニュアル（アクションカード）説明会及び初動時対応訓練 ①午前10時から午前11時 ②午後1時30分から午後2時30分 対象：所内職員	30名
R6. 6. 17	所内感染症患者移送車両研修会 午後1時30分から午後2時15分 対象：所内職員	12名
R6. 11. 25	所内鳥インフルエンザ研修 マニュアル説明、健康調査説明、発生時の初動対応等 午前10時から午前10時45分 対象：所内職員	17名

(5) 研修会・会議・訓練等への参加及び技術的支援

年月日	テーマ・内 容	主 催
R6. 5. 12	徳島県災害医療コーディネート研修会	医療政策課広域医療室
R6. 5. 22	家畜伝染病防疫対策説明会	西部総合県民局 農林水産部（美馬）
R6. 5. 28	要配慮者利用施設の防災対策に係る庁内担当者会議	河川政策課
R6. 7. 1	西部防災対策連絡会議	西部総合県民局 地域創生観光部（美馬）

R6. 8. 2	令和6年能登半島地震を踏まえた保健医療福祉分野 合同報告・研修会	保健福祉政策課
R6. 8. 6	令和6年能登半島地震に係る被災地支援活動報告会	健康寿命推進課
R6.10.24	南部圏域災害時コーディネーター調整会議・研修会	阿南保健所・美波保健所
R6.10.31	鳥インフルエンザ動員者集合施設運営訓練	西部総合県民局 農林水産部（美馬）
R6.12.17	つるぎ町防災会議	つるぎ町
R7. 1.20	個別避難計画作成ビルドアップ事業研修会	保健福祉政策課
R7. 1.28	災害対応研修会	香川県
R7. 1.30	東部圏域災害時コーディネーター調整会議・研修会	徳島保健所
R7. 2.17	香川県災害時健康危機管理支援チーム養成研修	香川県
R7. 3.10	美馬市総合防災情報システム操作説明会	美馬市

11 災害時コーディネーター体制整備事業

徳島県では、東日本大震災の支援経験を踏まえて、災害時に医師等の専門職や資材等を適正かつ迅速に配置するために、「医療」「業務」「保健衛生」「介護福祉」分野の「災害時コーディネーター」を配置しました。

管内では、平成24年度から関係機関との連携体制の構築に向けて事業を開始しています。

(1) 訓練・研修会等の開催

開催日・場所	テーマ・内 容	参加人員
年月日 R6. 5. 22 場所 美馬保健所	令和6年能登半島地震被災地支援活動報告会 (1)被災地支援活動報告 輪島市避難所支援・家庭訪問 保健師チーム第26班 健康増進担当 保健師 保健師チーム第29班 健康増進担当 保健師 保健師チーム第31班 児童相談担当 保健師 保健師チーム第35班 医療企画担当 保健師 (2)意見交換	17名
年月日 R6. 8. 19 場所 美馬市保健センター	西部災害時保健活動研修会・訓練① ○研修会 「能登半島地震災害派遣活動報告について」 ・保健師チーム派遣 美馬市保険健康課 ・DHEAT派遣 美馬保健所 所長 ○演習 「自施設における災害対応について」 ・現在実施している業務の災害対策 ・担当業務の災害対策での課題	26名
年月日 R6. 9. 2 場所 美馬市役所	西部災害時保健活動研修会・訓練② ○講義：災害支援の基本について 講師：美馬保健所 健康増進担当 1)災害に関わる根拠法令・災害時保健医療体制 2)フェーズ毎の保健活動 3)都道府県、保健所、市町村の役割について ・災害時保健活動マニュアル	19名

	○演習・訓練 1) クロノロについて 2) 避難所の支援について	
--	--	--

(2) 調整会議（検討会）の開催

開催日	テーマ・内容	場所	参加人数
R6.4.18	西部災害時保健活動研修会・訓練打合せ	美馬保健所	3名
R6.6.7	災害時コーディネーター体制整備事業に係る協議	美馬保健所	3名
R6.10.31	災害時コーディネーター調整会議 (1) 情報提供 「徳島県の災害医療体制について」 講師：医療政策課広域医療室 (2) 報告会 ■能登半島地震における派遣活動報告 ①「日本医師会災害医療チーム（JMAT）ロジ」 講師：半田病院 総務課 加藤 育典 氏 ②「日本医師会災害医療チーム（JMAT）」 講師：半田病院 管理者 須藤 泰史 氏 ③「災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）」 講師：三好保健所 所長 ④質疑応答・意見交換	美馬保健所	23名

(3) 衛星携帯電話通信及び防災無線訓練の開催

開催日	参加人数	日 時	参加人数
R6.4.8	3	R6.10.15	5
R6.5.18	8	R6.11.11	6
R6.6.11	4	R6.12.9	3
R6.7.8	4	R7.1.14	2
R6.8.5	6	R7.2.10	7
R6.9.9	3	R7.3.10	2

12 在宅医療・介護コーディネート事業

徳島県では、患者が住み慣れた地域で包括的かつ継続的に、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいます。

西部圏域においても、在宅医療連携体制の構築に向け、多職種連携の推進や人材育成事業を実施しています。

また、病院から在宅への移行が円滑にできるよう、介護保険の適用が考えられる患者の情報について、病院とケアマネが連携するための、「徳島県退院支援（医療と介護の連携）の手引き」を作成、平成28年3月より運用を開始するとともに実施状況を把握するためにアンケート調査を行っています。

(1) 研修会

【三好保健所と合同開催】

開催日・場所	事業内容	参加人数
年月日 R6.7.23 場所 三好・美馬 保健所 (ハイブリッド開催)	在宅医療・介護連携推進事業研修会 (1) 講義 テーマ 「医療と介護現場におけるフレイル予防を考える」 ①「フレイル予防の食事の工夫」 講師：徳島県栄養士会 一井 郁子 氏 ②「徳島県におけるフレイル予防の取組について」 講師：長寿いきがい課 徳元 義治 氏	62名

	③「口腔機能訓練によるフレイル予防」 講師：市立三好病院 言語聴覚士 加藤 司 氏 (2)情報提供「糖尿病サポーターについて」 美馬保健所 健康増進担当 (3)質疑応答	
--	--	--

(2) 研修会・会議等

年月日	テーマ・内 容	場 所
R7. 2. 25	西部圏域市町連絡会議	ハイブリッド 会場：三好・美馬保健所
R6. 9. 19	歯科保健関係者等研修会	会場：西部総合県民局 美馬庁舎
R6. 11. 14	在宅医療・介護関係者研修会	美馬市役所
R7. 1. 30	美馬市・つるぎ町多職種連携シンポジウム	ハイブリッド 会場：美馬市役所 つるぎ町役場

(3) 医療と介護との連携に関するアンケート調査について

年月日	テーマ・内 容	退院支援実施率
R6. 12月	管内調査対象事業所数 16事業所	82.0%

(4) 在宅医療・介護連携推進事業 多職種連携会議・打合せ

年月日	テーマ・内 容	開 催 場 所
R6. 4. 25	美馬市・つるぎ町との協議	美馬市役所
R6. 10. 28	美馬市・つるぎ町多職種連携研修会打合せ	美馬保健所

13 循環器病特別対策事業

令和元年12月に施行された循環器病対策基本法に基づき、徳島県では、令和3年10月に「徳島県循環器病対策推進計画」を策定、令和6年4月からは「徳島県循環器病対策推進計画第2期」を策定しました。

脳卒中对策について、西部圏域で、急性期から回復期、在宅医療に至るまで、地域の具体的な医療福祉連携提供体制の構築を図り、適切な医療・福祉サービスが切れ目なく提供される体制づくりの強化及び住民への周知を図っています。

(1) 研修会

【三好保健所と合同開催】

開催日・場所	事 業 内 容	参加人数
年月日 R7. 1. 30 場所 三好・美馬 保健所 (ハイブリッド開催)	循環器病対策研修会 ○情報提供 「徳島県循環器病対策推進計画の改定及び脳卒中・心臓病等総合支援センターについて」 徳島県保健福祉部 健康寿命推進課 ○講演 テーマ「西部圏域における脳卒中患者の支援について～在宅で生活するために～」 (1)「2025年問題の中、脳卒中になった患者は在宅生活に戻れたか？」 県立三好病院 脳神経外科 副院長 依田啓司 氏	58名

(2)「多職種連携の重要性～患者中心のケア実現に向けて～」 県立三好病院 患者支援センター 医療ソーシャルワーカー 宇坂能利 氏
(3)「訪問看護の関わりと多職種連携」 訪問看護ステーションROOM 代表 宇坂允樹 氏
(4)「在宅で過ごす脳卒中患者の支援について ～ケアマネジャーの視点から～」 みよし地域包括支援センター 介護支援専門員 多田美穂 氏
(5)「在宅で過ごす脳卒中患者の支援について ～地域の薬局の視点から～」 そうごう薬局 銀座通店 薬剤師 石川茉莉 氏

14 地域医療を考える県民講座事業

西部圏域において、地域住民を対象として地域医療に係る課題について理解を深めるための「県民講座」を開催し、地域住民が関心を持つことで地域医療の課題解決につなげることを目指します。

開催日	テーマ・内 容	参加人数
年月日 R6.10.5	三好病院県民公開講座(共催) 「100歳まで健康であるために～みなおそう！生活習慣～」	約45名
年月日 R6.11.16	三好病院県民公開講座(共催) 「変わりゆく がん治療～消化器がんを中心に」	約80名
年月日 R7.1.21	(1)信頼される徳島県立三好病院を目指して (2)人生会議をはじめましょう～私らしく生きるころづもり～	17名

15 健康ライフサポート事業

住民の自主的な健康づくり活動を支援するため、管内の団体及びグループ等に対して保健所の知識・技術を活かした講座を実施し、健康に関する図書やホームページ等を活用して住民への情報提供等を行っています。

	計	感染症	結核	エイズ	精神	難病	母子	成人 老人	栄養・ 健康 増進	歯科	医事 薬事	食品	環境	その他
依頼回数(計)	39	8	0	0	0	0	0	0	2	11	9	4	0	5
実施回数(計)	39	8	0	0	0	0	0	0	2	11	9	4	0	5
受講者数(計)	1,007	195	0	0	0	0	0	0	63	275	241	83	0	150
従事者数(計)	51	9	0	0	0	0	0	0	2	11	18	4	0	7

	計	一 般 住 民 等			学 校 等				その他関 係者
		各種団体	グループ	その他	小学校	中学校	高校	保育所幼 稚園	
依頼数(講座計)	39	13	14	1	9	0	0	2	0
実施数(講座計)	39	13	14	1	9	0	0	2	0

	計	獣医師	薬剤師	保健師	栄養士	歯科衛生士	その他
従事者内訳(講座計)	51	0	12	24	2	12	1

